

令和3年度公益目的支出計画実施報告書

【令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	202,482,498 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3))	26,739,026 円
(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	24,139,588 円
(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	30,011,312 円
(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	27,411,874 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	175,743,472 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	
<p>野菜価格安定事業における公益目的支出額である価格差補填金は、その制度上、気象条件等によって生産量や販売額が影響を受けやすいことから、均一的に予測することが困難である。</p> <p>しかしながら、野菜価格安値補填で交付された額は、翌年度資金造成負担金として事業収入に計上するため、その差額である公益目的収支差額は見込み額に近い額となっている。</p>	

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載して下さい。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	令和4年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画 (円)	実績 (円)	計画 (円)	実績 (円)	計画 (円)
公益目的財産額	202,482,498	202,482,498	202,482,498	202,482,498	202,482,498
公益目的収支差額	26,776,463	27,153,649	30,601,672	26,739,026	34,426,881
公益目的支出の額	50,650,698	36,378,466	50,650,698	30,011,312	50,650,698
実施事業収入の額	46,825,489	33,364,405	46,825,489	27,411,874	46,825,489
公益目的財産残額	175,706,035	175,328,849	171,880,826	175,743,472	168,055,617

注：前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載して下さい。

【実施事業（継続事業）の状況等】

（2）当該事業年度の実施状況

(単位：円)

事業の実施状況について	
<p>令和3年度の野菜生産量は大きな自然災害もなく、例年より生産量・出荷量ともに増加、加えて一昨年来のコロナ禍外食産業の低迷により、市場流通価格は安値傾向であった。</p> <p>本県においても、昨冬の大雪でハウス倒壊倒壊による生産量減少の懸念もあったが、春先以降天候に恵まれ、全国と同様に生産量・出荷量ともに増加、市場価格は安値傾向であった。</p> <p>収入保険制度に移行した生産者がいるのもかかわらず、補填交付金総額が前年度より増加したのは、市場安値傾向の裏付けといえる。</p>	
(1) 当該事業に係る公益目的支出の額	30,011,312
(2) 当該事業に係る実施事業収入の額	27,411,874
(3) (1)－(2)の額	2,599,438
(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額	30,011,312
(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額	27,411,874
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	注

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載して下さい。

（3）実施事業資産の状況等

(単位：円)

番号 注	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に取得した 場合の取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度末日 の帳簿価額	使用の状況
ハ	補填交付準備引当資産			215,684,659	218,791,215	計画記載通り引き続き 当該事業で使用

注：算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2…a1等)を記載して下さい。

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 1	国並びに県の制度による野菜生産価格安定事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。(単位：円)

損益計算書の科目	① 損益計算書の収益の額	② 実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 注
財産運用益	13,489	13,489	業務資金運用益の繰入額
県単野菜事業造成金収入	16,793,152	16,793,152	県単野菜の予約数量に基づく資金造成額から前年度繰越分を差引いた額
花き類事業造成金収入	0	0	花き類の予約数量に基づく資金造成額から前年度繰越分を差引いた額
特定野菜事業造成金収入	0	0	特定野菜の予約数量に基づく資金造成額から前年度繰越分を差引いた額
特定指定野菜事業造成金収入	1,142,977	1,142,977	特定指定野菜の予約数量に基づく資金造成額から前年度繰越分を差引いた額
県単野菜事業交付準備金取崩益	8,288,200	8,288,200	県単野菜造成金の前年度繰越額の内、現に取り崩した額
花き類事業交付準備金取崩益	31,073	31,073	花き類造成金の前年度繰越額の内、現に取り崩した額
特定野菜事業交付準備金取崩益	0	0	特定野菜造成金の前年度繰越額のうち、現に取り崩した額
特定指定野菜事業交付準備金取崩益	1,142,983	1,142,983	特定指定野菜造成金の前年度繰越額の内、現に取り崩した額
計	27,411,874	27,411,874	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付して下さい。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。(単位：円)

損益計算書の科目	① 損益計算書の費用の額	② 公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 注
その他	30,011,312	30,011,312	異なる費用科目は無いため①+②は同額である
計	30,011,312	30,011,312	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

【引当金の明細】

(1) 実施事業に係る引当金

(単位：円)

番号	引当金の名称		目 的		事業番号
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
1	県単野菜事業交付準備引当金		県単野菜価格差補填金交付準備金として	県単野菜価格差補填金交付準備金の戻しとして	継 1
	119,372,908	16,793,152	8,288,200	0	127,877,860
2	花き類事業交付準備引当金		花き類価格差補填金交付準備金として	花き類価格差補填金交付準備金の戻しとして	継 1
	8,579,763	0	31,073	815,513	7,733,177
3	特定野菜事業交付準備引当金		特定野菜価格差補填金交付準備金として	特定野菜価格差補給金交付準備金の戻しとして	継 1
	13,693,597	0	0	2,908,747	10,784,850
4	特定指定野菜事業交付準備引当金		特定指定野菜価格差補填金交付準備金として	特定指定野菜価格差補給金交付準備金の戻しとして	継 1
	37,705,246	1,142,977	2,285,960	879,611	35,682,652
5	継続実施事業特別引当金		継続実施事業実施に係る事業費として		継 1
	0	34,913,743	0	0	34,913,743

(2) (1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

(単位：円)

番号	引当金の名称		目 的		期末残高
	期首残高	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	

(3) 「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたもの 注

(単位：円)

番号	引当金の名称		目 的		期末の価額
	期首残高	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	

注：算定日において、退職給付金会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合については、当該未処理額は記入不要です。